

ユクリカ坂

本校の国際理解教育に関わる活動を紹介しています。



秋田県立能代松陽高等学校

国際理解通信 No.5

2026.9.28 (9月号)

松陽初の「韓国語学研修」 ～石正女子高校と姉妹校締結

本校による初めての「韓国語学研修」が、9月10日から14日までの5日間で実施され、1～3年生の男女12名が参加しました。第1回目となる今回は、国際コミュニケーション科・普通科・情報ビジネス科の全学科から生徒が集まり、そのうち韓国語の授業を履修していない生徒が半数を占めました。

2日目には、LINE などを通じて約10年間交流を続けてきた石正(ソクチョン)女子高等学校

を訪問し、熱烈な歓迎を受けました。歓迎式後の交流行事では、松陽生が K-POP ダンスと日本舞踊を披露し、会場は大歓声に包まれました。その後、校舎見学や授業(英語・数学・体育)、給食を体験し、午後は小グループでの交流会を行いました。生徒たちはスマホの翻訳機能を活用しながらも事前学習で練習した韓国語や英語を使って



積極的にコミュニケーションを取り、充実した時間を過ごしました。この日の夜からは1泊のホームステイを経験。短い時間ながらも、友達同士で放課後に出かけたり、おいしい食事を御馳走になったり、韓国の家族や高校生との忘れがたい思い出を作ることができました。



◎研修の日程は以下のとおり

1日目	学校→青森空港→仁川空港、バスで寧越郡へ
2日目	石正女子高校訪問 (歓迎式、交流行事、校舎見学、授業体験、給食、交流会) ホームステイ
3日目	グループ別ソウル市内体験学習
4日目	ソウル市内研修(景福宮、益善洞・北村散策、伝統工芸制作体験、公演鑑賞)
5日目	仁川空港→青森空港、バスで学校へ

石正女子高校と姉妹校締結

長年オンライン交流等で絆を深めてきた石正女子高校と、正式に姉妹校締結を交わしました。今後も継続的に交流を深めていきます。来年度は、石正女子高校の先生と生徒の皆さんが本校を訪問する予定です。



※語学研修の記事は裏へ続きます※

韓国語学研修に参加して

ホストのソヨンから似顔絵付きのネームボードをもらいとても嬉しかったです。7月から LINE でやり取りをしていたので、実際に会うのを楽しみにしていました。最初は緊張しましたが、すぐ仲良くなり楽しく交流できました。

交流では、日韓の学校生活の違いを大きく感じました。学校には自習室が多く、朝早くから大学受験に向けて勉強している高3生もいると知りました。日本との学校生活や受験に対する違いを実際に見ることができ、とても貴重な経験になりました。
(2E 多賀谷珠美)

ホストのスヒョンとはホームステイの日の夕方にカフェに行ったり、寧越の街を歩いたりしました。家ではたくさんおしゃべりをしたり、日本では食べたことのないフルーツを食べたりしました。

コミュニケーションがうまくとれるか不安でしたが、自分で勉強してきた韓国語が伝わったし発音をほめてもらえて嬉しかったです。スヒョンとは今でも毎日 LINE でやり取りをしていて、来年はスヒョンが松陽に来たいと言っているの、ぜひホームステイを受け入れたいと思っています。
(1B 小幡結空)

国コミ科 英語ワークショップ

国際コミュニケーション科のワークショップが9月17日に行われました。これは国際コミュニケーション科の生徒が毎年行ってきたもので、県内在住の外国出身者を講師に迎え、1日英語でコミュニケーションを取る日として開催しています。今年は県内各地からアメリカ、カナダ、南アフリカ、台湾出身の ALT など11名の外国人講師を迎えました。

午前中のアイスブレイクゲームや講師の自己紹介の活動では、最初は緊張していた生徒たちも次第に笑顔になりながら、自己紹介のリテリング発表や異文化交流を楽しんでいました。午後は「課題研究」のグループに分かれ、自分たちの研究テーマを英語で説明したり、講師の母国の現状についてインタビューをしたりして、調査を深める貴重な機会となりました。

かつては1泊2日の合宿形式で行われていましたが、コロナ後は校内開催となり、昨年度からは年2回に増やし充実を図っています。12月に予定されている第2回では、今回の学びを活かし、現在取り組んでいる課題研究のテーマについて英語でプレゼンテーションを行う計画です。



告知

松陽祭の後に、米国語学研修の説明会を開催します。
参加を考えている生徒は、保護者ともよく話しあってください。



「コクリカ坂」は学校 HP にも掲載しています。カラー版をご覧になりたい方は HP をご確認ください。